

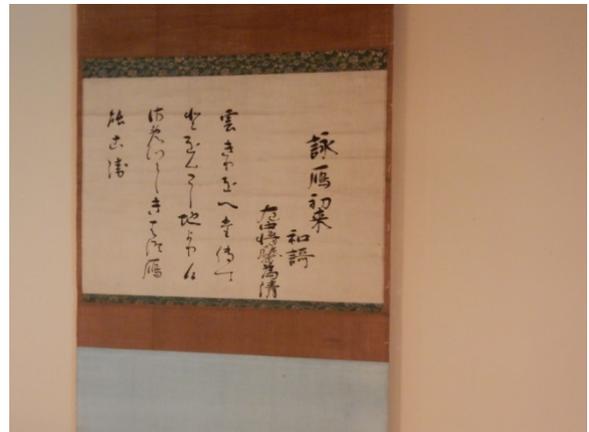
## リサーチウォーキング 冷泉家住宅見学

報告：中京区担当 村内

平成 28 年 9 月 14 日京都御苑北の今出川通に面した冷泉家前に午前 10 時 15 分に集合しました。

冷泉家は藤原定家の流れを継ぐ和歌の家系であることは、よく知られている。今回の冷泉家住宅の見学を楽しみにしていました。

早速、案内された「上の間」で冷泉家について説明を受けました。



お迎えいただいた冷泉家貴実子さん

(財団法人冷泉家時雨亭文庫事務局長)

上の間の床の間に飾られていた掛軸

説明によると、冷泉家がこの地に屋敷を定めたのは、江戸幕府が開かれてしばらくの 1606 年 10 月、九代為満の時と伝えられています。

公家町(現在の京都御苑)の外にあったため現存する唯一の公家屋敷として、邸宅を今日まで残すことができました。そして京都に残ったことは戦争による火災や混乱の被害から逃れられたため、国宝の「名月記」を始めとする貴重な文化財が守られ、そのため和歌の正倉院と呼ばれる家になりました。

続いて、住宅内部を見学させていただきました。

冷泉家住宅は、老朽化に伴い、平成 6 年からおこなわれてきた重要文化財指定建造物の解体修理工事は平成 12 年末に竣工しました。毎年期間を限って一般公開されているそうです。

見学を終え、はるか昔の時代を感じさせる空間と歴史を、体感出来たことと、保存に努めてこられた方々に感謝せずにはられませんでした。



御文庫（右）と新御文庫



台所の上部に「しゃぐま」  
祇園祭の長刀鉾に使われた藁束で、祭礼の後いただいて魔除けとして飾られるようになった。



表門に阿吽を対にした亀像瓦（冷泉家が京都御所の北に位置し、四神相応の玄武の神の亀蛇）



見学の終了後、玄関前で集合写真